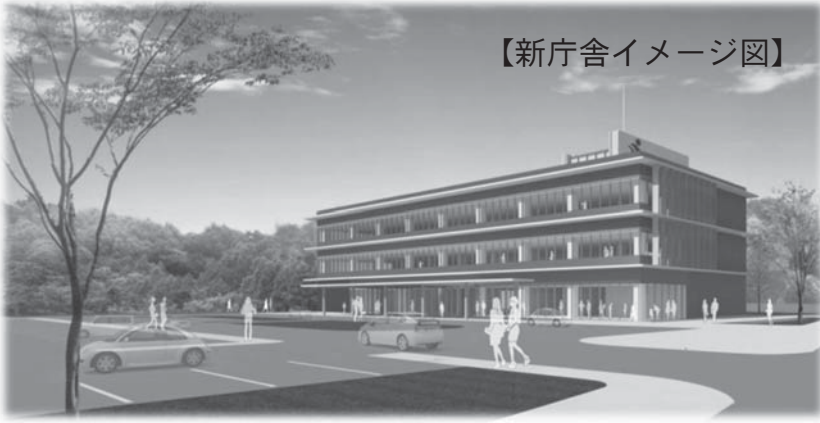


【新庁舎イメージ図】



Q 森 治史議員

指名業者が2社になったが、少し詳しい状況を。また、今までも続いてあったが、落札率が99・59%と非常に高いことと、最近、連続的な高額の補正が組まれたが、これらへの考えは。

A 大西 町長

今回、県外の大手5社と地元5社を予備指名させて頂い

て、その5社どうして話し合

いを頂いて、協業企業体を組み入札に参加して下さいという方式をとった。その上での辞退は、企業体の意思なので、結果、2社での実施となった。

なお、現在、東日本大震災の復興が土木ベースから建築ベースに移っており、建築ニーズが高いという環境にあることは理解願いたい。

落札率については、こちらが設定した金額と最低制限価格との差があれば、こちらから口出し出来るところではないので理解願いたい。

また、指摘のような規模の補正は全く想定していない。

Q 坂本 あや議員

工期が平成29年11月30日で、かなりぎりぎりまでの工期と思うが、大丈夫か。

A 大西 町長

非常に密なスケジュールを組んでおり、現段階では、工期に間に合うように工事を進める予定だ。

Q 小松 孝年議員

この請負契約の締結は、建築主体工事の一括発注だが、分離発注としなかった理由は。

A 金子 まちづくり課長

工事の内容は、建築工事、電気設備工事、機械設備工事、昇降機設備工事となっている。分離発注については、分離しても金額が大きい工事とな



新庁舎建設に向け、用地の切土工事から庁舎基礎工事(中央部)へと順次進んでいる。右奥には井の岬も望める(10月6日撮影)

業者の受注機会が一定確保されたものと考えている。

Q 藤本 岩義議員

落札した飛鳥建設は、再建団体のように聞いているが、その付近は問題ないのか。

A 金子 まちづくり課長

代表の飛鳥建設は、昨年度、土佐清水市の清水小学校建築工事も受注されており、問題ないと考えている。

Q 中島 一郎議員

今回、予定価格の設定はどのように行ったのか。

A 大西 町長

非常に厳しい工程の中で、出来るだけ工費を抑えるためには、目いっぱい下げて設計する必要があり、設計業者には、その上に立った設計をして頂いている。入札結果を見ても、これ以上下げるとおそらく、成立しなかったのではないかと思っている。